

# あらきニュース

Ryusho Araki News

発行: 福岡市議会議員 あらき龍昇



[p2] 決算報告ーもっと市民の暮らしに寄り添った市政に! / [p2-3] ゲノム編集トマトの苗を受け取らないで!

## こども見守り支援 デジタル化、課題も

「こども見守り支援課」が今年度、中学3年生までの支援が必要な子どもや家庭のニーズに応じるために、保健や福祉、教育などに関するデータを連携させる実証実験を始める予定です。市が保有するデータを連携させることで、「アウトリーチ」(市などが積極的に情報や支援の手を差しのべること)ができるようになることは必要ですが、課題もあります。

1点目は、判定基準やアルゴリズム(計算プログラム)をどのような考え方でつくるのかです。オランダではAI(人工知能)を使って児童扶養手当の給付の受付を行いましたが、有色人種出身の国民・移住者が不当に排除されていたことが問題となりました。担当者の偏見がアルゴリズムに反映されていたことが原因でした。

2点目は、アウトプットされたデータをどう理解するか、担当者のキャリアが重要となります。データでは

オーガニック給食シンポジウム 開催!

給食から変える 子どもたちのみらい

- 日 時 : 11月27日(日) 13:30~16:00
- 場 所 : 大手門パインビル 2Fホール  
(福岡市中央区大手門1-1-12)
- ゲスト: 九州農政局、八尋健次さん(オーガニックパパ)  
小崎孝子さん(ふたば幼稚園)ほか



桑原市政・山崎市政・吉田市政・高島市政を振り返る

## 「28年間の市政ウォッチ(無料)」が完成しました!

●初当選した1995年以降、落選期間中も含めて、28年間の福岡市政がどうだったのかを点検した資料です。

ご希望される方は、下記連絡先まで、お問い合わせください。

あらき事務所

092-862-8980

会派控室(市役所内) 092-711-4875/FAX.092-733-5881 http://www.araki-jp.com/

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市役所議会棟11階 緑の党と市民ネットワークの会



あらき 龍昇  
公式ウェブサイト

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用い発行しています —

# 森あやこ ニュース

発行: 福岡市議会議員 森あやこ

Ayako Mori News



[p2] 決算報告ーもっと市民の暮らしに寄り添った市政に! / [p2-3] ゲノム編集トマトの苗を受け取らないで!



## 学校給食は大きな役割があり 重要性が高い!

基準給食回数は年間190回。昨年は187日実施されました。学校給食で栄養を保つ子どもたちもいます。

少子化は止まりません。いじめや自殺の問題もあり、せっかく生まれたいのちが絶えてしまうことのないよう、お腹を満たす、安全なもので、安心して学べる学校環境にすることは重要です。

すべての子どもたちの権利として、教育が無償で受けられることとし、健康と福祉を向上させるために、学校給食の無償化を進めるべきです。

## 福岡市の教育費は、 他の政令市より0.5%低い!

給食費の保護者負担額は年間48億円(一般会計構成比0.5%)。教育費決算の不用額は57億円余。2021年度一般会計93億円余の黒字。

無償化を国へ要望するとともに、市の給食費予算にこれらの黒字分を充てると実現できると考えます。

## 食材の安全性をより高めることが必要!

食物アレルギーを有する児童生徒は、約4,000人。重篤な症状、アレルゲンとなる種類も増えています。そのような中、学校給食におけるアレルギー対応は一步一歩進められてきましたが、不安を抱える保護者からの相談は絶えません。

## 子どもたちの健やかな成長のために!

国は有機農業の拡大を掲げています。アレルギーだけの問題ではなく、人の健康といのちを守ることが重要で、国策として第一次産業を守ることが必要です!

国産の有機農作物を給食に利用すれば、作付けしたものがきちんと消費されます。手間隙かけても、喜びと利益が上がる農業にしていく必要があります。農水局と連携を図り、有機栽培を含め、市内産を増やせるよう進めていきます。

## 地球環境と生き物のいのちは一体!

土を守り、水を守らなければ、環境は汚染され、生態系にも影響します。生き物はいのちをいただき、体を作り、脳を作り、いのちを繋いでいます。

子どもを真ん中に、子どもが未来に夢を描ける社会にするために、給食の無償化と有機食材の活用、食育の更なる推進を、これからも強く求めていきます!

オーガニック給食シンポジウム 開催!

### 給食から変える 子どもたちのみらい

・日 時 : 11月27日(日) 13:30~16:00

・場 所 : 大手門パインビル 2Fホール  
(福岡市中央区大手門1-1-12)



・ゲスト: 九州農政局、八尋健次さん(オーガニックパパ)  
小崎孝子さん(ふたば幼稚園)ほか

## 生活って政治! 「住んでるまちを 住み続けられるまちに」市民とともに

「暮らしのための議会」を実現するため、皆さんのご意見や思いを聞かせてください。

事務所 **092-662-5077**

〒813-0044 福岡市東区千早5-17-18 TKビル2号館1階  
FAX.092-662-5097

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用い発行しています —



森あやこ 公式ブログ

<http://ayako966.blog.fc2.com/>

# もっと市民の暮らしに寄り添った市政に!

2021年度は3月の当初予算以降、7回の補正予算が組まれ、新型コロナウイルス関連の支援がなされました。しかし、支援は十分だったのか疑問が残ります。決算によると、不用額(予算が使われなかった額)は約289億円、基金の積立は約223億円(市債管理基金積立金を除く)。**基金を積み立てるよりも、もっとコロナ対策に活用すべきでした。**また、事業者支援として行われた「プレミアム商品券事業」については、生活困窮者などは購入ができない、小規模事業者は初期投資や手数料がかかり、事業に参加しにくいなど問題があり、事業のあり方を見直すべきでした。

他方、人工島事業や天神再開発・博多駅再開発事業などには投資を続け、住民合意が不十分なまま須崎公園の大木を伐採し「拠点文化施設(新市民会館)」の工事に着工するなど、開発優先の政策を進めました。住宅開発を規制

## 議会TOPICS

### 物価高騰対策の支援など、追加で

**補正予算289億円が成立!** (議案176号)

物価高騰の影響を受ける中小企業や子ども食堂の支援などの補正予算です。中小企業については、光熱費や燃料費の上昇分の半額(上限20万円)を補助することになりました。

### 人工島の土地処分ー住宅開発の

**コントロールが必要です!** (議案172号・173号)

大規模な住宅開発により、市内各地で「過大規模校」(31クラス以上の学校)が発生しています。人工島(香椎照葉)では小学校を新設する計画になっていますが、それでもまた教室不足になってしまうのではないかと懸念されます。埼玉県戸田市では、開発事業者は教育委員会と事前協議を行うことで住宅開発の調整がなされており、本市でも対策が必要です。

市は人工島整備事業について、今年8月に「土地が完売! 黒字150億円!」と発表しましたが、この事業の救済のために一般財源から多額の税金が使われ(立地交付金など)、こども病院・総合体育館・青果市場を人工島へ移転するなど、市政を歪めてきたことについてしっかりと検証する必要があります。

しないために過大規模校が増え続けて、教育環境や住環境を悪化させています。これは都市のウェルビーイングを低下させ、温暖化対策に逆行しています。

必要なことは市民の暮らしに寄り添った政策です。生活に対する不安、閉塞感やうつ状況、これらによるDVや虐待の増加など様々な問題が山積みです。非正規雇用は増え、年収300万円以下の世帯は約40%と、貧困と格差が拡大しています。市民を支える職員などの働き手を支えなければ、社会は崩れていきます。一人一人が生きがいを持ち、質が高く、持続可能な働き方ができるよう改善する必要があります。

**行政は企業経営とは違います。** 市民に一番近い政治を執り行う「地方自治」の原点に戻り、市民感覚に沿った、誠実な市政運営をすべきです。

### マイナンバーカードは推進すべきでありません!

(議案148号・151号)

これまでマイナポイント申請サポート委託業務費等に4億6千万円余もの税金が投入されてきました。(事業の始まった6年前からのマイナンバーカード申請のサポート業務委託費は12億8千万円余) しかし、2022年7月末でカードの交付数は5割弱、申請数でも6割弱です。利便性が低いにもかかわらず、マイナンバーに保険証や銀行口座、国家資格や免許などさまざまな個人情報が紐づけられ、監視社会に繋がる懸念が増えていました。



あらき龍昇 議員

(10/6・決算特別委員会 総会質疑)



### 住民福祉の向上のため、もっと「人への投資」を!

#### ▶子どもを取り巻く環境、厳しく

**児童相談所への児童虐待相談件数が増えています** (1292件(2017年度)→2685件(2021年度))。国は児童福祉司を増員する計画ですが、本市はその配置基準を満たしていません。また、経験5年末満の割合は約3分の2です。

**不登校も増加(801人(2017年度)→2719人(2021年度))、いじめも増加(認知件数:722件(同)→2736件(同))。** 本市もスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを年々増やし対応していますが、一人当たりの相談件数はそれぞれ410件、57件(いずれも2021年度)と増えています。

上記以外にも暴力行為対応、子どもの貧困対策、ヤングケアラー対策など、多岐にわたる対応が求められています。さらなる体制強化、そして専門性を高めるための人材育成が必要です。

#### ▶教職員の労働環境も厳しく

本市の教員の15%強が、過労死ラインと言われる月80時間を超えて残業しています。心の病による病気休職者・病気休暇取得者も増えています(88人(2017年度)→150人(2021年度))。

教員以外の市職員でも心の病による長期病休者が増えており、その主な要因として、業務が複雑化する傾向にあること、一人当たりの業務量が増えたことが挙げられます。教職員を増員し、専門職の正規雇用を促進することが必要です。

## 活動報告 申し入れを行いました!

7月8日(金)に凶弾に倒れた**安倍元首相**に対し、本市は同月11日(月)から15日(金)まで市役所庁舎1階に弔問記帳所と献花台を設置しました。「安倍元首相は民主主義を破壊してきた」「政治的中立を損なうのではないか」と抗議の申し入れを行いました。

**ゲノム編集トマト**(シリアルルージュハイギヤバ)を開発した会社が

その苗を、2022年度から全国の福祉施設へ、2023年度から全国の小学校へ無償配布する計画を立てています。安全性が確認されているとは言いがたいトマトの苗を受け取り、小学校に配布することは、**子どもを人体実験に差し出すのに等しい行為**です。苗を受け取らないよう、市教育委員会に要請しました。



森あやこ 議員

(9/22・決算特別委員会 総会質疑)



**大切な税金の使い道ー学校の給食、児童生徒のアレルギー疾患や化学物質過敏症対応、災害対策の充実を!**

#### ▶化学物質過敏症の児童生徒が増えています!

令和元年度9校・13人、令和2年度10校・16人、令和3年度13校・30人と増えてきていますが、化学物質の影響を受けていることに気づいていない方もいらっしゃると思います。

#### ▶「学校におけるアレルギー等疾患対応マニュアル」日々各学校で活用されています!

**化学物質によって体調を崩す子どもたちの必要な情報の把握や対応の仕方、日常的な留意事項、緊急時の対応等について記載し、そのマニュアルに沿って、学校で対応されています。**

- 全市立学校において、環境や安全性に配慮したワックスを使用
- 「住宅地等における農薬使用について」(農水省・環境省)に基づき、病害虫の発生による人への被害防止のため、やむを得ない場合に、必要最低限の範囲での農薬散布

お子さんの体調不良や連携不足などあれば、いつでも申し出てくださいね!

#### ▶福岡市の小学校食器等の洗浄は粉石けん!

#### ~直営調理員さんたちの40年にわたる努力~

「**公共施設からは環境を汚さない!**」との想いで、調理業務等の直営校、民間委託校とともに、食器等の洗剤は粉石けんを使用しています。しかし、民間委託校では、食器以外の手洗いやエプロンの洗浄剤は、石けん成分の徹底が行き届いてないようです。市の責任として環境保全のために、費用負担も含め石けん使用の徹底を図るべきです。

#### ▶原発事故時の安定ヨウ素剤備蓄と屋内避難訓練を実施

放射能災害時の安定ヨウ素剤配布会場となる50km圏内の市立の小・中学校13校へ、今年6月から分散備蓄されるようになりました。平成30(2018)年度から西区の小学校では屋内避難訓練が実施されています。

毎年議会で訴えてきたことで、備蓄や訓練に関して一歩一歩充実してきました。しかし「核のゴミ」の行き場はどこにもなく、廃炉作業も危険と隣り合わせが何十年も続きます。次世代への責任として、原発に頼らない社会を作りましょう!!



ほんかわ  
知明

# ふくおか 緑の党ニュース

2022 秋冬号 〈No.3〉

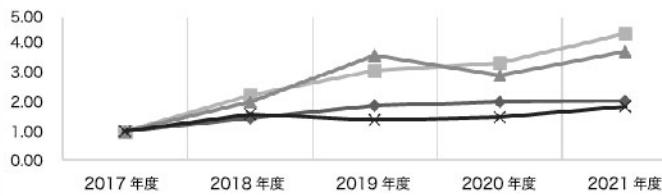
緑の党  
クリーン・ジャパン

あらき  
龍昇

## 子どもたちのいのち・心・からだを守るために 子ども自身の声を聴いて、支援を！

### 子どもを取り巻く環境の変化

- 児童相談所における児童虐待相談対応件数
- 不登校児童生徒数
- いじめの認知件数
- 学校における暴力行為の発生件数



グラフは直近5年間の福岡市の件数の変化を2017年度比で表しています。  
年々件数が増えていることがわかります。

また、子どもがいじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力などさまざまな暴力から自分の心とからだを守るために“**予防**”教育プログラムとして「CAP(キャップ)」があります。子どもにとって**安心・自信・自由**の3つを特に大切な権利として教え、これらを侵害する行為を「暴力」としています。子どもたちは危険

親などから虐待を受けた子どもは、保護された後も自分の意見をうまく伝えることができないことがあります。これまで児童相談所などでは、子どもと親の双方の話を聞いて「子どもの最善の利益」は何かを考えて判断していました。しかし最近では、**立場の弱い子どもの100%味方**という立場から「子どものマイク」となって意見を代弁する「**アドボケイト(代弁者)**」が必要だという考え方が注目されつつあります。虐待だけでなく、不登校やいじめなどについてもアドボケイトの考え方は重要です。

な状況を「いや」という感覚で察知し、自分を守るために行動の選択肢－「**No(イヤという)**」「**Go(その場を離れる)**」「**Tell(誰かに話す)**」－があることを学びます。子どもたちを守るためにには、子ども一人ひとりのエンパワメント(内なる力の活性化)も必要です。

### 福岡市も「子どもの権利条例」をつくり、 子どもを“社会のど真ん中”に置く市政にしていきましょう！

一緒に参加してみませんか？

自然や子どもたちの未来を守るために



#### ふくおか 緑の党の主な活動

- 学校給食の無償化とオーガニック化をめざす
- 自然や緑を守る(須崎公園・舞鶴公園など)
- 原発や石炭火力発電をなくし、再生可能エネルギーを増やす
- 生活と政治をつなぐ(議会改革、生活交通問題など)

ふくおか 緑の党ニュース／発行：あらき龍昇 編集：ほんかわ知明

[ 緑の党的6つの理念 ] ●エコロジカルな知恵 ●社会的公正・正義 ●参加民主主義 ●非暴力・平和 ●持続可能性 ●多様性の尊重





代表 小鴨由水



## 「市民ネットワーク福岡」の 中央区事務局長になりました おきそこの理恵です!

はじめまして。私は、市民ネットワーク運動との出会いは、「子ども食堂」でボランティア活動をしていた6年前です。市民ネットが掲げる「住んでるまちを住み続けられるまちに」というスローガンに共感し、今年8月から運営にも関わっています。そして、約20年間勤めていた私立高校を退職し、10月から市民ネットの中央区事務局長に就任いたしました。

私が勤めていた私立高校では、奨学金案内や応募などの業務がありましたが、保護者の中には行政の支援を必要な方もいらっしゃって、事務職員として奨学金の案内しかできないことに不甲斐なさを感じておりました。

私は、子どもや若者が未来に夢を描ける社会、健やかに育つための環境づくりをしたいと考えております。そのためには、教育格差をなくし、いのちをつなぐ食の安全のために尽力したい、この福岡市の自然を大切に守りたいとの想いがあります。

中央区事務局長として、今まで以上に様々な人たちの声を聴いて、市民のみなさまと共に頑張って参ります。どうぞよろしくお願ひします。



### 農業と農薬の勉強会を開催! ~いのちをつなぐ食の安全を求めて~



(10月15日 千早事務所にて)

「農業と農薬の勉強会」(農薬の使用や残留のチェック体制は?など)を開催しました。講師は鶴 竣之祐さん。とても分かりやすい解説と活発な質疑応答で盛り上がりました!

※鶴さんの解説はYouTubeチャンネル「ノウカノタネTV」で配信予定です。

### 福岡市の支援学校スクールバス 高等部生徒も乗車OKに!

中学部生徒の保護者が高等部生徒のスクールバスの利用を求める請願署名活動に、市民ネットでも協力をしていました。知人の西日本新聞記者に取材依頼したところ、9月22日朝刊に「高等部生徒も乗車OK」という記事が掲載され、一步前進! みんなの願いが形になったことを、本当に嬉しく思います。

### 子育て講座「ガミガミ言わずに育てる方法」開催しました!

今回も「ガミガミ言わずに片付けができる方法」とセットで開催しました。参加者は親子2組でしたが、事務所の子どもコーナーで楽しく遊びながら、かわいい笑顔を囲んでの講座でした。「色々な話が聞けてと

てもためになりました」との感想を頂きました。コロナ対策でコミュニケーション不足の中、子育ての悩みは尽きません。これからも子どもの笑顔あふれる社会を願い、市政への提案など行っています!

(8月5日 千早事務所にて)

※1 マークの意味:大きなCはcitizen(市民)を意味しており、市民による市民のための活動を強く志向していることを表しています。全体は地球をイメージして、葉っぱは芽吹くのちや環境保全を意識してデザインしました。／市民ネットワーク福岡とは:社会が高齢化に向かう中、子育て・介護などにたずさわり、日々の暮らしの問題が見えている女性の声が議会にもっと必要!との思いから1991年に立ち上がった政治団体です。市政への要望や議会への請願、陳情の相談も受けています。

年会費 1,000円

あなたも一緒に活動しませんか?

市民ネットワーク福岡  
<https://fnethigasi.sakuraweb.com>

